

2019（令和1）年度

計 算 書 類

大阪市西区土佐堀1丁目5番6号  
学校法人大阪YMCA

## 資金収支計算書

2019年 4月 1日から

2020年 3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金収入	1,570,300,000	1,594,926,443	△ 24,626,443
手数料収入	15,030,000	16,547,334	△ 1,517,334
寄付金収入	550,000	401,000	149,000
補助金収入	158,520,000	155,823,425	2,696,575
付随事業収入	693,400,000	801,942,434	△ 108,542,434
受取利息収入	0	601,033	△ 601,033
雑収入	133,100,000	77,569,567	55,530,433
借入金等収入	100,000,000	100,000,000	0
前受金収入	470,000,000	351,632,064	118,367,936
その他の収入	65,000,000	123,354,280	△ 58,354,280
資金収入調整勘定	△ 479,000,000	△ 522,885,827	43,885,827
前年度繰越支払資金	499,634,050	458,542,712	41,091,338
収入の部合計	3,226,534,050	3,158,454,465	68,079,585

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,713,490,000	1,731,499,244	△ 18,009,244
教育研究経費支出	470,550,000	572,857,155	△ 102,307,155
管理経費支出	317,940,000	290,826,320	27,113,680
借入金等返済支出	56,530,000	44,544,902	11,985,098
施設関係支出	100,000,000	43,584,408	56,415,592
設備関係支出	0	8,799,934	△ 8,799,934
その他の支出	145,000,000	172,593,326	△ 27,593,326
資金支出調整勘定	△ 150,000,000	△ 118,907,321	△ 31,092,679
次年度繰越支払資金	573,024,050	412,656,497	160,367,553
支出の部合計	3,226,534,050	3,158,454,465	68,079,585

## 事業活動収支計算書

2019年4月1日から  
2020年3月31日まで

(単位 円)

		科目	予算	決算	差異	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,570,300,000	1,594,928,443	△ 24,628,443	
		手数料	15,030,000	16,547,334	△ 1,517,334	
		寄付金	550,000	401,000	149,000	
		補助金	158,520,000	155,823,425	2,696,575	
		付随事業収入	693,400,000	801,942,434	△ 108,542,434	
		雑収入	133,100,000	77,569,567	55,530,433	
		教育活動収入計(1)	2,570,900,000	2,647,210,203	△ 76,310,203	
	支出	科目	予算	決算	差異	
		人件費	1,713,490,000	1,722,048,216	△ 8,558,216	
		教育研究経費	561,630,000	673,643,663	△ 112,013,663	
管理経費		338,370,000	305,014,240	33,355,760		
徴収不能額等		0	0	0		
教育活動支出計(2)		2,613,490,000	2,700,706,119	△ 87,216,119		
		教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 42,590,000	△ 53,495,916	10,905,916	
教育活動外収支	収入	科目	予算	決算	差異	
		受取利息	0	601,033	△ 601,033	
			教育活動外収入計(4)	0	601,033	△ 601,033
	支出	借入金等利息	2,180,000	1,669,902	510,098	
		教育活動外支出計(5)	2,180,000	1,669,902	510,098	
		教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,180,000	△ 1,068,869	△ 1,111,131	
		經常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 44,770,000	△ 54,564,785	9,794,785	
特別収支	収入	科目	予算	決算	差異	
		その他の特別収入	0	0	0	
		施設設備寄付金	0	0	0	
			特別収入計(8)	0	0	0
	支出	その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計(9)	0	0	0	
			特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	0	0
		予備費(11)	0		0	
		基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(9)-(11)	△ 44,770,000	△ 54,564,785	9,794,785	
		基本金組入額合計(13)	0	△ 20,555,324	20,555,324	
		当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 44,770,000	△ 75,120,109	30,350,109	
		前年度繰越収支差額	△ 3,657,799,621	△ 3,657,799,621	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 3,702,569,621	△ 3,732,919,730	30,350,109	

## 貸借対照表

2020年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	3,768,483,028	3,841,073,114	△ 72,590,086
(有形固定資産)	(3,488,983,439)	(3,551,684,326)	△ 62,700,887
(その他の固定資産)	(279,499,589)	(289,388,788)	△ 9,889,199
流動資産	606,652,468	609,661,269	△ 3,008,801
資産の部合計	4,375,135,496	4,450,734,383	△ 75,598,887
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	509,867,281	460,863,909	49,003,372
流動負債	511,635,687	581,673,161	△ 70,037,474
負債の部合計	1,021,502,968	1,042,537,070	△ 21,034,102
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	7,086,552,258	7,065,996,934	20,555,324
繰越収支差額	△ 3,732,919,730	△ 3,657,799,621	△ 75,120,109
翌年度繰越収支差額	△ 3,732,919,730	△ 3,657,799,621	△ 75,120,109
純資産の部合計	3,353,632,528	3,408,197,313	△ 54,564,785
負債及び純資産の部合計	4,375,135,496	4,450,734,383	△ 75,598,887

資金収支内訳表

2019年4月1日から  
2020年3月31日まで

収入の部

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪市立水都国際中学校・高等学校	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA国際専門学校			総額
							専門課程	高等課程	計	
学生生徒等納付金収入		0	0	410,869,599	389,312,907	262,979,026	405,089,948	126,674,963	531,764,911	1,594,926,443
手数料収入		0	0	2,197,000	6,260,900	2,388,824	4,024,604	1,676,006	5,700,610	16,547,334
寄付金収入		0	0	0	0	245,000	0	156,000	156,000	401,000
補助金収入		0	0	14,091,000	0	53,255,751	735,056	87,741,618	88,476,674	155,823,425
付随事業収入		5,974,910	342,700,000	16,690,065	159,258,590	0	225,771,003	51,547,866	277,318,869	801,942,434
受取利息収入		601,033	0	0	0	0	0	0	0	601,033
雑収入		6,989,432	0	477,309	4,297,940	454,554	64,963,567	386,765	65,350,332	77,569,567
借入金等収入		100,000,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000,000
計		113,565,375	342,700,000	444,324,973	559,130,337	319,323,155	700,584,178	268,183,218	968,767,396	2,747,811,236

支出の部

(単位 円)

科目	部門	学校法人	大阪市立水都国際中学校・高等学校	大阪YMCA インターナショナルスクール	大阪 YMCA学院	YMCA学院 高校	大阪YMCA国際専門学校			総額
							専門課程	高等課程	計	
人件費支出		42,644,037	249,427,920	313,211,735	326,494,508	209,582,227	429,584,734	160,554,083	590,138,817	1,731,499,244
教育研究経費支出		0	97,230,421	106,738,423	98,394,495	58,848,462	164,987,566	46,657,788	211,645,354	572,857,155
管理経費支出		89,294,725	19,250,668	27,414,918	21,844,024	17,174,462	98,818,759	17,028,764	115,847,523	290,826,320
借入金等返済支出		34,060,800	0	0	0	0	7,490,372	2,993,730	10,484,102	44,544,902
施設関係支出		32,646,418	0	7,806,790	3,131,200	0	0	0	0	43,584,408
設備関係支出		5,622,249	0	1,437,452	0	254,100	168,533	1,317,600	1,486,133	8,799,934
計		204,268,229	365,909,009	456,609,318	449,864,227	285,859,251	701,049,964	228,551,965	929,601,929	2,692,111,963

### 事業活動収支内訳表

2019年4月1日から  
2020年3月31日まで

(単位 円)

部門	科目	学校法人	大阪	大阪	大阪	YMCA	大阪	総額
			市立水都国際中 学校・高等学校	YMCA インターナショナルスクール	YMCA学院	YMCA学院 高校	YMCA学院 国際専門学校	
教育活動収支	収入							
	学生生徒等納付金	0	0	410,869,599	389,312,907	262,979,026	531,764,911	1,594,926,443
	手数料	0	0	2,197,000	6,260,900	2,388,824	5,700,610	16,547,334
	寄付金	0	0	0	0	245,000	156,000	401,000
	経常費等補助金	0	0	14,091,000	0	53,255,751	88,476,674	155,823,425
	付随事業収入	5,974,910	342,700,000	16,690,065	159,258,590	0	277,318,869	801,942,434
	雑収入	6,989,432	0	477,309	4,297,940	454,554	65,350,332	77,569,567
	教育活動収入計	12,964,342	342,700,000	444,324,973	559,130,337	319,323,155	968,767,396	2,647,210,203
	支出							
	人件費	46,347,845	253,573,140	314,080,115	330,937,998	181,615,190	595,493,928	1,722,048,216
教育研究経費	0	97,230,421	114,464,922	125,471,085	65,138,031	271,339,204	673,643,663	
管理経費	90,631,044	19,250,668	28,273,418	24,852,534	17,959,703	124,046,873	305,014,240	
徴収不能額等	0	0	0	0	0	0	0	
教育活動支出計	136,978,889	370,054,229	456,818,455	481,261,617	264,712,924	990,880,005	2,700,706,119	
教育活動収支差額	△ 124,014,547	△ 27,354,229	△ 12,493,482	77,868,720	54,610,231	△ 22,112,609	△ 53,495,916	
教育活動外収支	収入							
	受取利息	601,033	0	0	0	0	0	601,033
	教育活動外収入計	601,033	0	0	0	0	0	601,033
	支出							
	借入金等利息	535,800	0	0	0	0	1,134,102	1,669,902
教育活動外支出計	535,800	0	0	0	0	1,134,102	1,669,902	
教育活動外収支差額	65,233	0	0	0	0	△ 1,134,102	△ 1,068,869	
経常収支差額	△ 123,949,314	△ 27,354,229	△ 12,493,482	77,868,720	54,610,231	△ 23,246,711	△ 54,564,785	
特別収支	収入							
	その他の特別収入	0	0	0	0	0	0	0
	特別収入計	0	0	0	0	0	0	0
	支出							
	その他の特別支出	0	0	0	0	0	0	0
特別支出計	0	0	0	0	0	0	0	
特別収支差額	0	0	0	0	0	0	0	
基本金組入前当年度収支差額	△ 123,949,314	△ 27,354,229	△ 12,493,482	77,868,720	54,610,231	△ 23,246,711	△ 54,564,785	
基本金組入額合計	0	0	0	0	0	△ 20,555,324	△ 20,555,324	
当年度収支差額	△ 123,949,314	△ 27,354,229	△ 12,493,482	77,868,720	54,610,231	△ 43,802,035	△ 75,120,109	

学校法人 大阪YMCA

財 産 目 録

(2020年3月31日現在)

I 資産総額		金	4,375,135,496 円
内	1 基本財産	金	3,125,732,285 円
	①土地		1,093,320,942 円
	②建物		2,024,243,860 円
	③その他		8,167,483 円
	2 運用財産	金	1,249,403,211 円
	①固定資産		372,118,664 円
	②流動資産		877,284,547 円
II 負債総額		金	1,021,502,968 円
内	1 固定負債		509,867,281 円
	2 流動負債		511,635,687 円
III 正味財産		金	3,353,632,528 円

# 2019年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

学校法人 大阪YMCA



# 学校法人大阪YMCA 2019年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

## I 法人の概要

### 1 設置する学校・学部・学科等

#### (1) YMCA学院高等学校

通信制課程（単位制）総合学科

#### (2) 大阪YMCA学院 総合日本語学科、実用日本語学科

#### (3) 大阪YMCA国際専門学校

外国語専門課程 英米語学科、英米語専攻科

日本語学科2年コース、日本語学科1.5年コース  
進学日本語学科

ビジネス専門課程 国際ホテル学科、国際ビジネス学科

国際高等課程 国際学科、表現・コミュニケーション学科

教育福祉専門課程 スポーツ&ウエルフェア学科、社会体育専攻科

#### (4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

幼稚部、初等部、中等部

### 2 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

#### (1) YMCA学院高等学校

課程	学科	学則定員
通信制課程（単位制）	総合学科	1,750

#### (2) 大阪YMCA学院

学科	学則定員
総合日本語学科（1年コース）	40
総合日本語学科（1年半コース）	40
総合日本語学科（2年コース）	40
実用日本語学科（2年午前コース）	130
実用日本語学科（2年午後コース）	130
合計	380

(3) 大阪YMCA国際専門学校

課程名	学科名	学則定員
ビジネス専門課程	国際ホテル学科	160
	国際ビジネス学科	80
国際高等課程	国際学科	90
	表現・コミュニケーション学科	90
外国語専門課程	英米語学科	40
	英米語専攻科	25
	日本語学科2年コース	140
	日本語学科1.5年コース	100
	進学日本語学科	60
教育社会福祉 専門課程	スポーツ&ウエルフェア学科	80
	社会体育専攻科	20
小 計		805
ビジネス専門課程	国際ビジネス学科	200
小 計		200
合 計		1,065

(4) 大阪YMCAインターナショナルスクール

学科名	学則定員
幼稚園部	60
初等部	125
中等部	60
合計	245

3 役員・教職員の人数（令和元年5月1日現在）

(1) 役員

理事 7人（うち、理事長1人、常勤理事4人）

監事 3人（うち、常勤監事0人）

(2) 教員

YMCA学院高等学校

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
通信制課程	12	0	12	115	0	127

大阪YMCA学院

	専任			非常勤 講師	任期制 助手	合計
	教員	助手	計			
文化教養	10	0	10	57	0	67

大阪YMCA国際専門学校

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
ビジネス専門課程	4	0	4	19	0	23
国際高等課程	20	1	21	64	0	85
外国語専門課程	15	0	15	139	9	163
教育社会福祉専門課程	1	1	2	10	0	12
合計	40	2	42	232	9	283

大阪YMCAインターナショナルスクール

	専任			非常勤	任期制	合計
	教員	助手	計	講師	助手	
文化教養	23	5	28	3	0	31

(3) 職員

区分	専任職員	兼務職員	合計
YMCA学院高等学校	4	0	4
大阪YMCA学院	8	0	8
大阪YMCA国際専門学校	16	15	31
大阪YMCAインターナショナルスクール	9	2	11
合計	37	17	54

## II 事業の概要

### 1 事業の概況

時代に即した教育、時代と社会の変化を見通した教育を展開するため、学校法人大阪YMCAは大阪YMCAの他法人と連携して、長期的なVISION（VISION2020）を10年単位で策定しています。大阪YMCA VISION2020の願いは、

- 1) ネットワーク型福祉社会を実現する（＝人が繋がるあたたかな社会を作る）
- 2) 未来に希望を持ちチェンジメーカーとなる青年を育む（＝社会をよりよく変えていく）

の2つです。

とりわけ学校法人は、時代が求める教育を探求するため、また現状の教育の課題に応えるため、学校の枠を超えた事業運営を進め、選択と集中を行うことで効率化を推進しました。また、グループ法人との連携を密にして、他法人を社会経験の場として利用しながら、学校法人の教育効果を高めています。

大阪YMCAの学校事業の目標は、

- 1) Global Leadership Development 今後のグローバル社会の進展を鑑みて、その推進者となりえる青少年を育成する。
- 2) Youth Development 不登校や発達障害児童など、課題を抱えている青少年に対して

の居場所として、彼らを受け止め、次のステージへと誘導していく。

3) Social Responsibility 大阪YMCA他法人との対象領域別の連携を強化し、社会のニーズに対応したプログラム展開（子育て支援・シニア事業・多文化共生・放課後デイ・児童発達支援事業・学童保育など）を推進する。

以上の3分野を学校法人が力点を置いている分野として明確にすることにより、地域・保護者の理解を得ると同時に、教職員の働く上でのモチベーションの強化にもつながっています。

結果として、すべての事業において安定して生徒数を確保しました。特に今年度は公設民営の国際バカロレア校の水都国際中学校・高等学校が開校、その先進的な取り組みは日本中の注目を浴びた1年でした。令和2年に国際学科でバカロレア科目履修が開始することにより、大阪YMCAインターナショナルスクールの中中部や大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科の生徒数が伸びたこともあわせて、今後の事業展開に大きな後押しとなると考えています。

## 2 主な事業の目的・計画および進捗状況

(1) 平成29年度(2017年度)は留学生事業・高校生事業・国際/語学事業の3領域で区分していたものを、令和元年度(2019年度)より公設民営の国際バカロレア校を含め、ガバナンスを下記のように4事業に再構築しました。

留学生事業・高校生事業(発達支援事業含む)・語学事業・国際事業

ガバナンスを再構築したことで、適切なリーダーシップが図られました。特に、国際事業に大阪YMCAインターナショナルスクールと国際バカロレアディプロマコース設置予定である公設民営中高一貫校開設準備室をグループ化したことにより、国際事業の包括的な管理運営が可能となり、人的・物理的に推進がはかられました。

(2) 公設民営中高一貫校の水都国際中学・高等学校は大阪のグローバル教育のフラグシップとなるべく開校しました。その21世紀型教育・国際バカロレア教育は今後、大阪府下の青少年を育成するグローバル教育機関の一步となりました。以下は当校のアドミッションポリシーです。

- ①国際社会で活躍し、大阪の経済成長をけん引する人材を育てる。
- ②子どもたちが、グローバルな視野に立って、優れた英語運用能力を身につけ、主体的に行動できる人間へと成長できる。
- ③先進的な教育プログラムと新たな学校運営のスタイルをもつ学校として、子どもたちの多様なニーズに応える。

(3) 令和2年(2020年度)に国際専門学校国際高等課程国際学科で開始するバカロレア科目履修について、ポジショニングの検討を行いました。バカロレア科目履修は国際事業に位置付け、準備をスタートいたしました。履修は希望者を対象としますが、国際学

科全体で協働できるものを探ることによって、生徒全体にとってより良い学びになることの検討も始めています。

- (4) 国際語学事業と留学生事業との連関関係を強化し、アジアだけではなく欧米、オセアニア諸国などへ視野を広げて募集やインターンを受け入れました。多様化・多国籍化した教職員・生徒に対して、グローバルスタンダードに基づいた環境を提供し、国籍の枠にとらわれないグローバルな感覚をもった教職員および生徒を育成します。
- (5) 高校生事業の中のYMCA 学院高校では平成 29 年度（2017 年度）からスタートした通学型コースの完成年度となり、学校に通いにくい生徒が力をつけて次の進路へつなぐことができました。また新入生の半分以上が起立性調節障害（OD）であることから、健康に不安をもつ生徒へのプログラム開発、保護者への自助グループを開始いたしました。このように生きづらさをもつ生徒への持続可能な支援のため、援助職の教職員のケアにも力をいれました。
- (6) 発達支援事業については、学校法人だけではなく他法人との連携を取りながら、発達支援事業の総合的な計画を作成しました。合理的配慮に基づいたインクルーシブ教育の実践教育機関として、すべての青少年に対して安心できる環境を提供し、自己肯定感をもつ青少年を育て、社会への啓発を行いました。

法人内に設置している総合教育センターでは、年間を通して「発達相談・カウンセリング」「教育セミナー」を行っています。また学校法人や他法人とも連携をとりながら、定期的な巡回相談等も行うことにより、インクルーシブ教育の推進になっています。それ以外に、教職員、スタッフのセーフティネットになっており、質の高い活動を児童・生徒・学生に提供できる一因となっております。特に高校生事業においては、ICT を活用した合理的配慮が一步進みました。

- (7) 統括本部と協働で、人事制度を整備し、人事体制を強化しました。外国籍人材の積極的な雇用の推進や英語圏のYMCAを中心としてスタッフ交流を推進しました。

平成 30 年度に就業規則を見直し、令和元年度施行につなげました。海外からの外国籍人材約 30 名のインターンシップを各現場に送り込みを行うことにより、外国人と共に働くことも、当法人では通常の状態になりました。総合職にも外国籍人材の応募が常となり、外国人教員以外の外国籍スタッフの数も増えてきております。オーストラリアなど英語圏のYMCAからは長期のスタッフ受入れや、スタッフとの交流も年々推進しております。

### Ⅲ 財務の概要

#### 2019年度決算の概要

##### (1) 資金収支計算書

###### ①収入の部

IB事業、国際・語学事業が堅調でした。決算は予算に対して、事業活動収入分の7,600万円増額となりました。

###### ②支出の部

大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科バカロレア科目履修のための人件費、施設改修費が増額となりました。またインターナショナルスクールの教室改装、什器備品購入等生徒のための環境整備を行いました。

予算に対しましては、事業活動支出・退職金支出により増額となりました。

##### (2) 事業活動収支計算書

###### ①事業活動収入の部

IB事業、国際・語学事業が収入増となり、高校生事業も堅調でした。

###### ②事業活動支出の部

大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科バカロレア科目履修のための人件費、施設改修費が増額となりました。またインターナショナルスクールの教室改装、什器備品購入等生徒のための環境整備を行いました。人件費、広報費等事業活動支出の減額によりやや改善したものの、予算に対しての支出は、増加しました。

##### (3) 貸借対照表

###### ①資産の部

固定資産は大阪YMCA国際専門学校の建物の改修等により7,180,300円が増額となりました。

###### ②負債の部

固定負債は長期借入金が増額となりました。

###### ③基本金の部

基本金は20,555,324円組入れを行いました。

###### ④事業活動収支差額の部

高校生事業が堅調、留学生事業・語学事業はやや生徒数減ではあるものの事業活動収支差を出しました。水都国際中学・高騰学校の開設初年度のため支出が増え、決算として-54,564,785円となりました。

## IV 今後の課題

昨今の厳しい経済状況の中、私立学校を取り巻く経営環境は大きく変化しています。また教育界の急速の変化に対応すべく、教育内容をさらに充実させ、全ての学生・生徒にとって魅力的な学校作りが必要です。その中で、全国初の公設民営中高一貫校である大阪市立水都国際中学校高等学校の開校は学校事業全体の大きな起爆剤となりました。YMCAが得意としている対話的で深い学びをすすめる21世紀型教育を進める手法は、すでに各事業で実施していますが、ICTを活用しながら、人を育むためにより進めていきたいと考えています。再生に力をいれてきた学院高等学校は、学習指導要領改訂にあわせた教育改革に行いながら、増えてきた中学卒業後すぐに入学する生徒たちへのサポートシステムの充実を図ることも必要となり、発達障害だけではなく、起立性調節障害など合理的配慮のシステムがほぼ確立いたしました。

高校生事業にも多くの外国籍の生徒が入学してきており、学校法人全体で800名を超える児童・生徒・学生が在籍しています。学校として多様化した児童・生徒・学生に対応できる仕組みを作ることが求められており、さまざまな場面で児童・生徒・学生を支援する取り組みのより一層の充実が課題となっています。

特に不登校や発達障がいの子どもの数は増えており、ますます合理的配慮を含めた対応が求められてきております。多様化している児童・生徒・学生に寄り添いながら、個々の目的と特性に基づいた適切な対応が必要となってきています。パイオニア的にこのことを進めてきました当法人は、啓発活動も行っていくことも求められています。教職員のバーンアウトを防ぐ仕組みも必要です。

新設された「特定技能」をはじめとした就労ビザを取得し在留する外国人が増えてまいりますが、日本語指導を必要とする人たちは増加します。そこへの課題にも今後取り組んでいきたいと考えています。

# 監査報告書

2020年5月18日

学校法人 大阪YMCA

理事長 末岡 祥弘 殿

監事

松尾 博之

監事

萩原 義明

監事

文学 文男

私たちは、学校法人大阪YMCAの2019年度（2019年4月1日より2020年3月31日まで）の財産の状況につき監査を行いました。

監査の結果、計算書類に記載された内容は、正確かつ妥当なものであり、

また、理事の業務執行は法令および寄付行為に従って、誠実に行われている

ものと認めます。

以上